

南山大学
外国高等学校卒業生等入学試験

出題の意図・解答例

2025 年度

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

《外国高等学校卒業者等入学試験》

英語	1
現代国語	4
スペイン語<1年次>	5

2025年度 外国高等学校卒業生等入学試験

試験科目名 英語 時間 90分 配点 100点 (2024年10月19日実施)

〈ただし、1年次入学におけるその他の外国語科目受験者の配点 50点〉

【出題の意図】

AI

本設問では、大学レベルの学修に必要な英語の文法力および語彙力の総合的な運用能力を測定します。文の意味を正確に理解し、適切な語句や文法形式を選択する力を評価します。

AII

本設問では、400～600語程度の文章に最も適した文法形式、語彙、表現を選択する能力を測定します。文法、語彙、論理的な流れを考慮しながら、全体の意味を理解する力を評価します。

AIII

本設問では、200～400語程度の文章に最も適した文法形式、語彙、表現を選択する能力を測定します。文法、語彙、論理的な流れを考慮しながら、全体の意味を理解する力を評価します。

AIV

本設問では、日常的な状況における短い自然な会話を完成させることで、文法の正確さ、語彙の使用、文脈に即した応答の適切さを測定します。

AV

本設問では、短い文の中から文法的または語彙的な誤りを見つけ出す能力を測定します。動詞の時制、冠詞、前置詞、語形などへの理解を確認し、文構造に対する正確さと注意力を評価します。

B

本設問では、社会的または教育的なテーマについて、英語で意見を論理的かつ説得力をもって表現する能力を測定します。批判的思考力、文章構成力、英語表現力を評価し、大学レベルの学修に必要なライティング能力を確認します。

2025年度 外国高等学校卒業生等入学試験

試験科目名 英語 時間 90分 配点 100点 (2024年10月19日実施)

〈ただし、1年次入学におけるその他の外国語科目受験者の配点 50点〉

【解答例】

1. A
2. D
3. D
4. C
5. A
6. D
7. B
8. B
9. C
10. B
11. B
12. D
13. C
14. B
15. D
16. A
17. D
18. C
19. B
20. A
21. B
22. A
23. B
24. D
25. A
26. A
27. C
28. B
29. D
30. A
31. A
32. C
33. B

2025年度 外国高等学校卒業生等入学試験

試験科目名 英語 時間 90分 配点 100点 (2024年10月19日実施)

〈ただし、1年次入学におけるその他の外国語科目受験者の配点 50点〉

34. C

35. A

36. A

37. A

38. B

39. B

40. D

41. C

42. D

43. C

44. A

45. B

46. A

47. C

48. A

49. D

50. A

51. B

52. B

53. C

54. B

55. B

56. C

57. D

58. C

一〇二五年度 外国高等学校卒業生等入学試験

試験科目名 現代国語 時間 九〇分 配点 一〇〇点 (二〇二四年十月十九日実施)

【出題の意図】

一 松沢裕作『歴史学はこう考える』からの出題である。漢字の書き取りと読みを問う問題で国語に関する基礎知識を問い、その他の問題で、文章の論理構造と筆者の主張を正確に理解する読解力と表現力を問うた。

二 河野至恩『世界の読者に伝えるということ』からの出題で、具体例を通して文章の内容を正確に理解して、その内容を過不足なく要約する力と、理解したことをもとに自ら考える思考力、および、それを論理的に分かりやすく述べる表現力を問うた。

【解答例・評価のポイント】

一 解答例

問1 史料とは、歴史家が過去の出来事や状態を今を生きる人びとに説明する際に、その説明の根拠として用いる情報源である。過去の人びとが残した日記や手紙、契約書などがこれにあたり、出来事と同じ時代に作成されたものが史料として用いられる。

問2 イ 【Ⅱ】 問3 仲介 問4 エ 問5 とどこお(って)

問6 「山田が土地を買った」という一文だけでは、その情報がどのような目的や説明につながるのかがわからないからである。日常会話では根拠を問わないが、歴史家の文章では情報の使われ方が重要であり、読者は真偽よりも意図を問いたくなる。

問7 イ もつとも 問8 エ つまり 問9 ウ そこで

問10 歴史家は、個々の出来事や状態の情報を結び付け、説明や議論を成り立たせるために用いる。ある出来事を他の出来事の原因としたり、類似や相違を示したりして、情報を相互に関係づけながら過去の理解を組み立てていく。

問11 資料 問12 信用

二 評価のポイント

要旨部分については、本文中の具体例を用いながら、筆者の論の展開に沿って、明確な構成と論理、明瞭な表現によって要約されているかが評価のポイントとなる。

自身の考えを述べる部分については、筆者の主張を踏まえた上で、その主張への賛否にとどまることなく、自分の体験や観察などを通じた考察・異なる角度からの考えを示すことができているかが評価のポイントとなる。当然、論理構造や表現の分かりやすさも重要なポイントとなる。

2025年度 外国高等学校卒業生等入学試験

試験科目名 スペイン語 時間 60分 配点 50点 (2024年10月19日実施)

【出題の意図】

この試験の出題意図は二つから成る。第一の意図は、スペイン語で記述された長文の読解能力を測定することである。スペイン語で構成された平易な単文から複雑な重文に至るまで、様々なレベルの記述（発話及び談話）を正確に読み解きながら、問いに答えるために必要な情報を引き出す能力があるかどうかを判定する。同時に、スペイン語で推論する能力と、問われている事象を一般化する能力があるかどうかも見極める。そして、長文読解を通して、スペイン語で論理的な結論を導き出す思考力が備わっているかどうか判別する。スペイン語による長文読解能力、推論力、一般化能力、総合的な思考力を測定する問題は、全て設問の前半部分を構成するセクションAに組み込まれている。第二の意図は、スペイン語の語彙力と文法力を測ることである。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に則して、A1レベルに相当する初歩的なスペイン語の語彙を有しているかどうか判定するところから始め、徐々に語彙レベルを上げていき、後半の設問では、B1からB2レベルに準ずる語彙を扱うことができるかどうか測定する。また、スペイン語の文法構造を体系的に身に付けているかどうかも判別する。具体的には、主語と動詞の人称一致、動詞の時制一致、完了・未完了の選択及び、直説法・接続法の使い分けなどの設問を通して、スペイン語を用いた感情表現、客観的描写、価値判断などを明確に言語化できるかどうか測定する。語彙、人称の選択、時制の識別、感情表現、客観的描写、価値判断などを扱った設問は、作問の後半部分を織りなすセクションBに配されている。

【解答例】

- 1- b 17- c
- 2- a 18- a
- 3- b 19- d
- 4- b 20- b
- 5- c 21- c
- 6- b 22- d
- 7- c 23- c
- 8- a 24- b
- 9- b 25- a
- 10- d 26- d
- 11- b 27- b
- 12- c 28- c
- 13- b 29- d
- 14- b 30- a
- 15- a
- 16- a

発行：南山大学 入学センター

名古屋市昭和区山里町 18 番地

Phone : (052)832-3119

E-mail : nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

U R L : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>